

2025 年 9 月 25 日所長会見 所感

- 本日私からは、2 点お伝えいたします。
1 点目は 6 号機の制御棒駆動機構の不具合への対応状況についてです。資料 1 をご覧ください。
- これまでに電動駆動による挿入・引抜操作などを実施してきましたが、今回は、電動駆動部を取り外し、「ボールねじ」と呼ばれる部分を直接上下させたところ、ひっかかりが解消し、現在は全引抜の状態になっています。
- 今後、当該の制御棒駆動機構については、予備品と入れ替え、詳細調査を行ってまいります。
また、運転圧でのスクラム検査などの健全性確認を行い、制御棒の動作に問題がないかを確認してまいります。
- なお、制御棒駆動機構の入れ替え作業に伴い、②の原子炉圧力容器漏えい確認について、当該箇所のみ再実施します。
- 作業の手配を含めて、詳細工程を詰めているところですが、調査結果を踏まえた新たな対応がなければ、過去の経験を踏まえると、10 月中旬頃には、残りの健全性確認が終了する見込みです。
- いずれにしても、工程ありきではなく、何かあれば立ち止まり、一つひとつ確実に安全最優先で対応してまいります。
- 2 点目は、今年 6 月 23 日にお知らせした、柏崎刈羽原子力発電所運営会議についてです。資料 2 をご覧ください。
- 10 月 1 日より、運営会議の議長を務められる、東北電力ご出身の佐藤 敏秀（さとう としひで）氏が発電所に着任されます。

- 佐藤氏は、新潟県を供給エリアに持つ東北電力において、東通原子力発電所長、青森支店長を歴任されました。
また、東北エネルギー懇談会会長を務めるなど、原子力安全のみならず、地域への広報や地域との共生に関する豊富な経験を有した方です。
- そのため、着任後は当発電所に駐在のもと、事業運営について確認をいただき、これまでの数多くの知見をもとに、外部の目線で助言や提言をいただきたいと考えています。
- また、資料3の人事通知にある通り、元中部電力浜岡原子力発電所の総合所長であった、所長補佐の水谷が、運営会議の委員就任にあたり、退任することになりました。
- 2022年4月に所長補佐として着任以降、開かれた所長室、挨拶運動やサンクスカードなど、協力企業の方々も含めた当発電所におけるコミュニケーションの向上に、大きく貢献してもらいました。
- 今後は、当発電所の状況にも精通した運営会議の委員として、あらためて外部の目線で提言をいただきたいと考えております。
- 本日私からは以上です。